

4. 多可町の建造物調査

岸 泰子

1. 概要

兵庫県多可郡多可町は、兵庫県のほぼ中央に位置する。

多可町では、2022年度から町内にある寺社建築の調査を実施する予定である。その事前準備として、2021年度から町内の寺社建築の悉皆調査を京都府立大学文学部歴史学科文化遺産学コース建築史学研究室が行った。

本節では、その事前調査の概要を報告する。

2. 内容

2021年度は、以下の日程で調査を実施した。

日程 2021年10月8日（金）、11月17日（水）、2022年1月28日（金）

調査は、岸が担当した。

多可町は、加美区・中区・八千代区からなる。

2021年10月8日は、主に加美区の寺社の建造物の確認（目視）を行った。

同年11月17日は、八千代区の寺社の悉皆調査を実施した。地区内の寺社において、調書の作成や写真撮影を行った。2022年1月28日は、同様の調査を中区でも実施した。

次年度以降、悉皆調査を実施した後、そのなかから地域・時代・建築的に特徴がある寺社の建物を抽出し、詳細な調査（二次調査）を実施する予定である。

なお、2021年12月4日（土）には、那珂ふれあい館において岸が「多可郡の歴史的建造物」と称した講演会を行い、多可町を含む旧多可郡の寺社建築の特徴や本調査の概要などを地元の方に説明した。



写真1 阿弥陀堂（八千代区）外観